

看取りを^{2014 宇治久世}考える会

～自然な最期を迎えられる条件を探るためのシンポジウム～

10月18日(土) 午後3時～6時
おかもと総合クリニック会議室

入場無料
予約不要

日頃は医療と介護の連携活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

宇治久世医師会では、「在宅医療」「事前指示書」など人生の最終章の問題を地域住民の皆さんと一緒に考えて行きたいと講演会を実施してきました。

今回、自分の終末期に受ける医療・処置に対する意思決定を自らの力で表現できない多くの高齢者の生活を担っていただいている介護施設での看取りの実像に迫るためにアンケートを取りました。その一部を紹介致します。

アンケートは家族の複雑な思いや希望を語らない高齢者を前にして施設スタッフが看取りを「躊躇する」「迷う」姿を浮かび上がらせるだけではなく、スタッフの中に高齢者に過剰な延命治療をやめて穏やかな最期を迎えさせてやりたいという強い気持ちがあることを教えてください。ただアンケートには現在の施設の現状は看取り体制を敷くには難しい面があるとも書かれています。いくつかの声を並べてみます。もっと医師のリーダーシップを、もっと職種間の連携を、死の教育が不足、看取りのマネジメントがわかりづらい、マンパワーが足りないなどです。

今回、過剰な延命治療を希望しない高齢者が自然な最期を迎えられる条件を探るためにこのシンポジウムを企画いたしました。

プログラム

進行役：宇治久世医師会 門阪 庄三 氏

1. 講演：『特別養護老人ホームでの看取りの導入と地域への展開』

社会福祉法人 寿 特別養護老人ホームグリーンヒル泉・横浜

介護支援専門員 小山 輝幸 氏

2. 看取りの事例提示

特別養護老人ホーム天ヶ瀬苑 生活相談員 村田 美代 氏

介護支援専門員 福嶋 和美 氏

3. パネルディスカッション『施設での看取りを考える』

…パネリストは、行政、宇治久世医師会、特別養護老人ホーム等から予定しています…

この会は2014年度京都府地域包括ケア推進機構の交付金事業「看取り対策プロジェクト」の一環として開催するものです。

主催：宇治久世医師会、看取り委員会（藤田佳也 宇治市役所 / 清水芳美 宇治明星園 / 清水義博 第二岡本総合病院 / 中野 寿 第二岡本総合病院 / 大河治子 宇治徳洲会病院 / 滋野博子 宇治久世医師会 / 門阪庄三 宇治久世医師会）